

新規事業採択時評価結果（平成19年度新規事業化箇所）

担当課：九州地方整備局 地域道路課  
 担当課長名： 世利 正美

事業の概要

事業名	主要地方道玉之浦大宝線 戸町切工区	事業区分	地方道	事業主体	長崎県
起終点	自：長崎県五島市玉之浦町井持浦 至：長崎県五島市玉之浦町戸町切	延長	1.68 km		
<p><b>事業概要</b></p> <p>主要地方道玉之浦大宝線は、福江島の福江島の最西端に位置する五島市玉之浦町玉之浦の旧玉之浦町役場を起点に、玉之浦町大宝の国道384号交差点までの延長約9.5kmの主要地方道で、同区間を結ぶ唯一の道路である。戸町切工はこの路線の一部をなし地域住民の生活道路として重要な役割を担っており、主要な観光地である大瀬崎断崖、ルルドの聖地等の観光地のアクセス道路として大型バスの通行も多い箇所である。</p> <p><b>事業の目的、必要性</b></p> <p>玉之浦地区と福江市街地を結ぶ路線の一部である本路線は主要な観光地へのアクセス道路として大型バスの通行が多いが、半島の裾野を縫うように走っているため、急カーブが連続しており車両の走行性を大きく阻害している。特に本工区は急峻な山地部であるため、大きな迂回を余儀なくされていることに加え、防災点検箇所も点在し危険である。このことから、車両の走行性の向上と時間短縮を図ると共に、危険箇所を回避するため、道路整備を行い、地域産業の振興と社会活動の活性化を支援すると共に、市町合併後の地域内連携を促進するものである。</p> <p>全体事業費 22億円 計画交通量 1,000台/日</p>					
<p><b>事業概要図</b></p>					

事業評価結果

費用対便益	B/C	1.3	総費用： 20億円 事業費： 18億円 維持管理費： 1.1億円	総便益： 26億円 走行時間短縮便益： 24億円 走行費用減少便益： 1.6億円 交通事故減少便益： 0.13億円	基準年	平成18年
	感度分析の結果		交通量変動 B/C=1.4 (交通量 +10%) 事業費変動 B/C=1.4 (事業費 +10%) 事業期間変動 B/C=1.4 (事業期間 +2年)	(交通量 -10%) (事業費 -10%) (事業期間 -2年)		
事業の影響	評価項目	評価	根拠			
	自動車や歩行者への影響					
	渋滞対策					
	事故対策	○	交通事故発生箇所を解消（物損、人身）H15:2件、H16:4件			
	歩行空間					
	社会全体への影響					
住民生活	○	医療施設へのアクセス向上（福江島西端から第2次医療施設五島中央病院へ搬出時間を4分短縮）				
地域経済	○	狭隘路の解消、市町村合併支援				
災害	○	緊急輸送道路に指定、防災点検要対策箇所3箇所を解消				
環境	○	自動車からのCO2排出量が削減される 292t-CO2/年 → 129t-CO2/年				
地域社会	○	日常活動圏中心地域へのアクセス向上				
事業実施環境	○	事業執行について地元の五島市とは協議済であるため、円滑な事業執行は可能である。				

採択の理由

費用対効果が1.3と便益が上回っていること、円滑な事業執行の環境が整っていることから事業採択の前提条件が確認できる。また、本事業の整備により、災害等の危険箇所が回避されるとともに二次医療サービスの格差是正及び合併市町間の連携強化を図ることで新市の一体化に大きく貢献することから地域経済への効果は高いと判断できる。  
 以上より、本事業を採択した。

※総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。

**関係する地方公共団体等の意見**

地元の五島市は安全かつ快適な自動車交通による五島市全域の発展のため、主要地方道玉之浦大宝線の早期整備を県に要望している。  
 県としても、市町村合併支援、離島医療支援の観点から整備は必要と考える。

**事業採択の前提条件**

費用対便益： 便益が費用を上回っている。（B/C=1.3）  
 円滑な事業執行の環境： 事業執行について地元五島市と協議済みである。